

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	嚥下障害Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 6,7限他	教室名	401
担 当 教 員	高田晃宏 永来努	実務経験と その関連資格	(高田) 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士			
《授業科目における学習内容》						
嚥下障害の基礎知識と評価・治療を学習し、言語聴覚士の役割と課題について考える。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
使用テキストである「標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学」を事前に読んでおくこと。 授業中に示した課題を実施しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
摂食嚥下障害に対して興味を持ち、自ら積極的に学習できる基盤をつくって頂きたい。						
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	嚥下障害の概要を理解する		プロジェクター スピーカー 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料 等を事前に読んでおく
		各コマに おける 授業予定	嚥下障害とは□			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下機能のメカニズムを理解し、説明できる。		プロジェクター スピーカー 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料 等を事前に読んでおく
		各コマに おける 授業予定	摂食嚥下機能のメカニズム①			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下機能のメカニズムを理解し、説明できる。		プロジェクター スピーカー 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料 等を事前に読んでおく
		各コマに おける 授業予定	摂食嚥下機能のメカニズム②			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下機能に関係する解剖的知識を理解し、説明できる。		プロジェクター スピーカー 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料 等を事前に読んでおく
		各コマに おける 授業予定	摂食嚥下の解剖学的知識①			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下機能に関係する解剖的知識を理解し、説明できる。		プロジェクター スピーカー 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料 等を事前に読んでおく
		各コマに おける 授業予定	摂食嚥下の解剖学的知識②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下機能に関する解剖的知識を理解し、説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下の解剖学的知識③			
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下機能のメカニズムを理解し、説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害の病態と原因①			
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下機能のメカニズムを理解し、説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害の病態と原因②			
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下機能のメカニズムを理解し、説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害の病態と原因③			
第10回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下機能のメカニズムを理解し、説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害の病態と原因④			
第11回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下機能のメカニズムを理解し、説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害の病態と原因⑤			
第12回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下機能のメカニズムを理解し、説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害の病態と原因⑥			
第13回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下機能のメカニズムを理解し、説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害の病態と原因⑦			
第14回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下機能のメカニズムを理解し、説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント 聴診器 紙コップ スプーン	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害の病態と原因⑧			
第15回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害に対する検査と診断、評価について理解し、説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント 聴診器 紙コップ スプーン	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく	
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下障害に対する観察と検査・評価①			

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	嚥下障害Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 6,7限他	教室名	401
担 当 教 員	高田晃宏 永来努	実務経験と その関連資格	(高田) 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士			
《授業科目における学習内容》						
嚥下障害の基礎知識と評価・治療を学習し、言語聴覚士の役割と課題について考える。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
使用テキストである「標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学」を事前に読んでおくこと。 授業中に示した課題を実施しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
摂食嚥下障害に対して興味を持ち、自ら積極的に学習できる基盤をつくって頂きたい。						
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 16 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下障害に対する検査と診断、評価について理解し、説明 できる。		プロジェクター 教科書 配布プリント 聴診器 紙コップ スプーン	指定した教科書、資料 等を事前に読んでおく
		各コマに おける 授業予定	摂食嚥下障害に対する観察と検査・評価②			
第 17 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下障害に対する検査と診断、評価について理解し、説明 できる。		プロジェクター 教科書 配布プリント 聴診器 紙コップ スプーン	指定した教科書、資料 等を事前に読んでおく
		各コマに おける 授業予定	摂食嚥下障害に対する観察と検査・評価③			
第 18 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下障害に対する検査と診断、評価について理解し、説明 できる。		プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料 等を事前に読んでおく
		各コマに おける 授業予定	摂食嚥下障害に対する観察と検査・評価④			
第 19 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下障害に対する検査と診断、評価について理解し、説明 できる。		プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料 等を事前に読んでおく
		各コマに おける 授業予定	摂食嚥下障害に対する観察と検査・評価⑤			
第 20 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	摂食嚥下障害に対する検査と診断、評価について理解し、説明 できる。		プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料 等を事前に読んでおく
		各コマに おける 授業予定	摂食嚥下障害に対する観察と検査・評価⑥			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害における合併症とリスク管理について理解し・説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	合併症とリスク管理		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害に対する治療・訓練について理解し、説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	間接訓練、直接訓練①		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害に対する治療・訓練について理解し、説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	間接訓練、直接訓練②		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下障害に対する治療・訓練について理解し、説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	目標設定		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	気管切開患者への対応について理解し、説明できる。	プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	気管切開後の状態理解、各種気管切開チューブ(カニューレ)		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食嚥下機能療法について得た知識を説明できる	プロジェクター 教科書 配布プリント	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	摂食嚥下機能療法について総括的に学ぶ		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児領域の摂食嚥下メカニズムを説明できる	プロジェクター 配布資料	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	小児領域の摂食嚥下メカニズムを学ぶ		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児領域の摂食嚥下障害について説明できる	プロジェクター 配布資料	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	小児領域の摂食嚥下障害について学ぶ		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児領域の摂食嚥下障害の治療について説明できる	プロジェクター 配布資料	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	小児領域の摂食嚥下障害の治療について学ぶ		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児領域の摂食嚥下障害の訓練について説明できる	プロジェクター 配布資料	指定した教科書、資料等を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	小児領域の摂食嚥下障害の訓練について学ぶ		